

令和8年度第2回尾張北部構想区域地域医療構想推進委員会 議事概要

1 日時

令和8年9月4日（金）午後2時から3時15分まで

2 場所

春日井保健所2階講堂

3 出席者

委員28名（うち代理出席9名）、事務局12名

4 概要

(1) 開会・挨拶

(2) 委員長選出

委員の互選により三輪委員が委員長に選出された。

(3) 議事

ア 報告事項

(ア) 新たな地域医療構想の策定について【資料1】

(イ) 医療構想機能報告について【資料2】

<主な意見・質問等>

- ・ 誤嚥性肺炎や慢性心不全、尿路感染症など「それほど医療資源を要さない救急患者」が、現在どの医療機関でどれくらい分担しているかというデータが提供される予定はあるか。

→ そのような疾病ごとの動向などもデータとして持っており、今後示していきたい。

- ・ 基本的に一つの医療機関は一つの医療機関機能を担うという想定だったと思うが、地域によってはその急性期拠点機能を担う医療機関が高齢者救急を担わざるを得ないこともある。今後の棲み分けに関し、県としての何か考えはあるのか。

→ 地域の医療資源の状況によっては、一つの病院でも複数のことをカバーしない地域もあり、そのような場合には複数の医療機関機能を報告するということもあり得ると聞いている。

(ウ) 構想区域の現状について【資料3】

<主な意見・質問等>

- ・ 病床の稼働率と利用率はどう違うのか。

→ その日の入院患者数を数えるときに、稼働率は退院した患者も含めるが、利用率は退院した患者を含めない。

- ・ 医療機関の従事者数の過不足データも今後提供していただきたい。
- 検討する。
- ・ 医療従事者数における看護師数は常勤だけなのか、それとも非常勤も含めた数なのか。
- 医療機関の常勤に加えて、非常勤は常勤換算した数を足した数である。
- (エ) 愛知県外来医療計画について【資料４－１】【資料４－２】
- (オ) 地域医療構想の現状及び令和７年度病床機能報告結果について【資料５－１】【資料５－２】
- (カ) 有床診療所の病床数変更について【資料６】
- ＜エ～カに対する主な意見・質問等＞
- ・ 外来医師過多区域も条件を満たせば医療機関を開設できるのか。
- 開設できる。
- ・ 病床機能には様々あるが、必要病床数はどのように検討していくのか。
- 必要病床数は、国から推定ツールが提供されており、市町村の役割などを入れるとすぐ算出でき、自動計算もできる。
- ・ 病床数の議論は、必要病床数が出た後で進めるのか。
- そのとおり。

5 閉会